

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 14 日現在

機関番号：32606

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2011～2012

課題番号：23820045

研究課題名（和文） 陸九淵『象山先生文集』の新資料：北京大学図書館所蔵本から近世東アジアをとらえ直す

研究課題名（英文） : New materials of Lu Jiuyuan's *Xiangshan Xiansheng Wenji*, owned by Beijing University Library.

研究代表者

中嶋 諒 (NAKAJIMA RYO)

学習院大学・付置研究所・研究員

研究者番号：80614726

研究成果の概要（和文）：

北京大学図書館所蔵『象山先生文集』（請求番号：4030）を調査し、これが従来現存最古の陸九淵の文集資料とされてきた中国国家図書館所蔵『象山先生文集』（請求番号：7066）よりも、成立時期が早いことを発見した。また両書を含めた陸九淵の文集資料の総合的な文献調査を行い、明の正徳年間（1506～1521）頃に二系統の『象山先生文集』が刊行されるようになったことを明らかにした。

研究成果の概要（英文）：

It has been conventionally said that *Xiangshan Xiansheng Wenji*, owned by National Library of China, is the oldest version of the book extant. However, through the research for the same book, owned by Beijing University Library, it proved that the timing of establishment for this book is earlier than the one for National Library of China owned.

Moreover, with the investigation of books related to Lu Jiuyuan, including those two different versions of the book, the fact was revealed that it started to have two type of *Xiangshan Xiansheng Wenji* around Zhengde period (1506-1521) of Ming dynasty.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2011年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2012年度	1,100,000	330,000	1,430,000
総計	2,200,000	660,000	2,860,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：中国哲学

キーワード：陸九淵、象山先生文集、象山先生語録、北京大学図書館、中国国家図書館、大阪府立中之島図書館、成化年間、正徳年間

## 1. 研究開始当初の背景

- (1) 研究代表者は、陸九淵（1139～1192）は朱熹の論敵、王守仁の先駆という点で、近世東アジア史上極めて重要な思想家であるという理解のもと、その思想分析を長らく行ってきた。ただその際、陸九淵の著作集である『象山先生文集』には、諸本によっていくらか異同がある——その最も顕著な例は、冒頭部分（巻二）に載せる文章が全く異なる二系統の『象山先生文集』が存在する——ということに気づき、その文献研究を試みたいと願っていた。
- (2) 研究代表者は、2008年度に富士ゼロックス小林節太郎記念基金より助成を受けて、中国国家図書館善本室所蔵の『象山先生文集』について調査を行った。ただしその際に使用した資料は、一般的に現存最古の『象山先生文集』とされる中国国家図書館所蔵本のみであり、それよりもさらに時代を遡るであろう版本が存在する可能性を視野に入れ、積極的に新たな文献を探し出そうとする意欲を、この時点では持ち合わせていなかった。
- (3) 研究代表者は、2009年9月から2010年7月に至るまで、中国政府奨学金留学生として北京大学哲学系に留学した。そのさい北京大学図書館古籍特蔵室にて、偶然に中国国家図書館所蔵本よりもさらに時代が遡ると思われる『象山先生文集』を発見した。ただしその撮影許可には莫大な費用が必要となり、留学中に北京大学図書館所蔵本を精査に調査することは叶わなかった。

## 2. 研究の目的

- (1) 本研究は、従来文献学的な見地から考察されることがほとんどなかった宋代思想の分野において、文献研究という極めて基礎的かつ重要な作業を通じて、その抜本的な見直しを図るところに目的があった。陸九淵という極めて重要な思想家の著作に、見るべき新たな文献が発見されたとなると、宋代思想研究のみならず、宋代史研究、宋代文学研究においても大きなインパクトを与えると考えていた。
- (2) また本研究では、陸九淵の個別研究の見直しをはかることも目的としていた。陸九淵の著作は、例えば同時代の朱熹や呂祖謙と比べて、現存する著述の量が圧倒的に少なく、その思想研究の際にも、残されたわずかな言葉から、その思想の全体像を築きあげていくより他がなかった。それゆえ北京大学図書館本の調査を通じて、もしも佚文などが発見された場合には、たとえその量がわずかであったとしても、陸九淵の思想全体を塗り替える可能性が十分にありうると考えていた。
- (3) しかも陸九淵は、朱子学の創始者である朱熹や、陽明学の提唱者である王守仁と深いつながりを持つ思想家であった。したがって陸九淵の思想が塗り替えられたならば、当然朱熹や朱子学、王守仁や陽明学の再検討も必要となる。本研究は、朱子学と陽明学という近世東アジアの主軸となる二つの思想を、抜本的に見直すことも目的としていた。

### 3. 研究の方法

- (1) 研究代表者は、2011年12月24日より29日に至るまで、北京大学図書館におもむき、そこで同図書館古籍特蔵室所蔵『象山先生文集』の撮影を試みた。そしてそこで得られた撮影データをもとに、研究代表者が所属する学習院大学の付置研究所において、これを調査研究した。とりわけ、すでに複写を入手済みであった中国国家図書館所蔵本などと比較検討し、そこから北京大学図書館所蔵本の独自性を明らかにしていくこととした。
- (2) 研究代表者は、さらに多くの陸九淵関連資料を調査するため、2012年9月1日より4日に至るまで、中国瀋陽の遼寧省図書

館に、また同年10月6日には、大阪府立中之島図書館におもむき、調査を行った。とりわけ大阪府立中之島図書館では、これまで全く注目されることのなかった『象山先生語録』（請求番号：甲漢77）などを閲覧、複写した。そしてこれらと北京大学図書館所蔵本との比較検討を、引き続き行った。

- (3) そのほか研究代表者は、現在一般に市販されている入手可能な限りの陸九淵関連書籍を購入し、これらを改めて調査、研究することとした。

以上の作業を通じて、陸九淵関連資料の総合的な文献研究を行った。



図1：北京大学図書館所蔵

『象山先生文集』巻一・第一葉

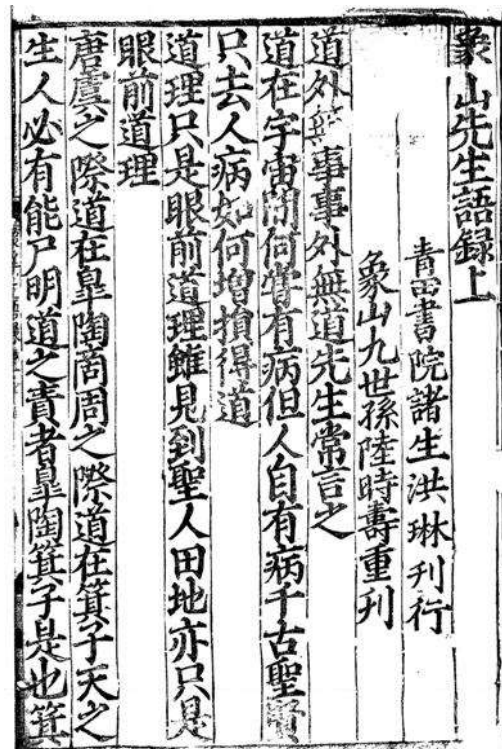


図2：大阪府立中之島図書館所蔵

『象山先生語録』巻上・第一葉

#### 4. 研究成果

(1) まずはそもそも、これまで全く注目されることのなかった北京大学図書館所蔵『象山先生文集』の存在を世に知らしめ、しかもこれが現存最古の『象山先生文集』とされてきた中国国家図書館所蔵本よりも、さらに時代を遡るであろうことを明らかにできたことは、本研究の大きな成果である。

(2) なお実際に、北京大学図書館所蔵本と中国国家図書館所蔵本との校勘作業を行ったところ、特筆すべき大きな差違は見あたらなかった。そのため研究開始当初に設定していた「研究の目的」をつぶさに果たすことはできなかったが、両書には予想以上に細かな異同が見られ、そのためこれらを詳細に分析することで、その成立過程や諸版本との関連が明らかになった。

そのほか多くの陸九淵関連書籍を調査研究することで、『象山先生文集』諸版本の系統を明らかにできたことも、本研究の成果の一つであるといえる。

以上のことを具体的、かつ簡潔に述べると、以下の①から③のようになる。

- ① 南宋中後期から明の成化年間（1465～1487）頃に至るまで、『象山先生文集』の版本は、陸九淵の死後まもなく刊刻された、陸持之の編纂本系統に属するものが、その主流を占めていた。
- ② 明の正徳年間（1506～1521）頃になると、王守仁の意向を反映したと思しき、李茂元なる人物の手による別系統の版本が刊刻された。
- ③ しかしその後も、『象山先生文集』諸版本は陸持之の編纂本系統に連なるものが主流であり続けた。

#### 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計1件）

- ① 中嶋諒、陸九淵の『春秋』解釈——その高弟、楊簡との比較を手がかりに、論争アジアの文化と思想、査読無、20号、2011、pp. 1-38

〔学会発表〕（計1件）

- ① 中嶋諒、陸九淵の『春秋』解釈——その高弟、楊簡との比較を手がかりに、第37回宋代史研究会、2011年8月27日、浜名湖ロイヤルホテル

〔その他〕

- ① 中嶋諒、『象山先生文集』の諸本について（研究報告書）、2013、全78頁（国内外の研究者、研究機関に寄贈した）

#### 6. 研究組織

##### (1) 研究代表者

中嶋 諒 (NAKAJIMA RYO)

学習院大学・付置研究所・研究員

研究者番号：80614726